Pioneer

A6

インテグレーテッドアンプ

A-A6MK2

インターネットによるお客様登録のお願い

http://pioneer.jp/support/

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
弊社では、お買い上げいただいたお客様に「お客様登録」をお願いしています。
上記アドレスからご登録いただくと、ご使用の製品についての重要なお知らせなどをお届けいたします。なお、上記アドレスは、困ったときのよくある質問や各種お問い合わせ先の案内、カタログや取扱説明書の閲覧など、お客様のお役に立てるサービスの提供を目的としたページです。

取扱説明書

安全上のご注意

● 安全にお使いいただくために、必ずお守りください。
● ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠ 記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠ 警告

異常時の処置

● 万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

● 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

設置

● 電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。また、電源コードが引っ張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。

● 放熱をよくするため他の機器、壁等から間隔をとり、またラックに入れる時はすき間をあけてください。また、次のような使い方で通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
→あおむけや横倒し、逆さまにする。
→押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。
→じゅうたんやふとんの上に置く。
→テーブルクロスなどをかける。

- **着脱式の電源コード（インレットタイプ）が付属している場合のご注意：** 付属の電源コードはこの機器のみで使用することを目的とした専用部品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。また電源コードは本製品に付属のもの以外は使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱から火災・感電の原因となることがあります。

- 本機の上に火がついたろうそくなどの裸火を置かないでください。火災の原因となります。

使用環境

- この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

- 風呂場・シャワー室等では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- 表示された電源電圧（交流 100 ボルト 50 Hz/60 Hz）以外の電圧で使用しないでください。火災･感電の原因となります。

- この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（ＤＣ）電源には接続しないでください。火災の原因となります。

使用方法

- 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

- ぬれた手で（電源）プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

- 本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- 本機のカバーを外したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり､加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店に交換をご依頼ください。

- 雷が鳴り出したらアンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

⚠ 注意

設置

- 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

- 電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

- ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

- 本機を調理台や加湿器のそばなど油煙、湿気あるいはほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- テレビ、オーディオ機器、スピーカー等に機器を接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。

- 本機の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

- 本機の上にテレビを置かないでください。放熱や通風が妨げられて、火災や故障の原因となることがあります。（取扱説明書でテレビの設置を認めている機器は除きます。）

- 電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

- 移動させる場合は、電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

- 本機の上にテレビやオーディオ機器をのせたまま移動しないでください。倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。重い場合は、持ち運びは 2 人以上で行ってください。

- 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。

使用方法

- ディスクを使用する機器の場合、ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。

- レーザーを使用している機器では、レーザー光源をのぞきこまないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、壊れたりしてけがの原因になることがあります。

- お子様がカセットテープ、ディスク挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因になることがあります。

- 旅行などで長期間ご使用にならない時は安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電池

- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 電池を機器内に挿入する場合、極性表示（プラス (＋) マイナス (ー) の向き）に注意し、表示どおりに入れてください。間違えると電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 長時間使用しない時は、電池を取り出しておいてください。電池から液が漏れて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液が漏れた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また万一、漏れた液が身体についた時は、水でよく洗い流してください。

- 電池は加熱したり分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となることがあります。

保守・点検

- 5 年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお掃除費用については販売店などにご相談ください。

- お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

本機の使用環境温度範囲は5 ℃～35 ℃、使用環境湿度は85 %以下(通風孔が妨げられていないこと)です。
風通しの悪い所や湿度が高すぎる場所、直射日光(または人工の強い光)の当たる場所に設置しないでください。

D3-4-2-1-7c_Ja

目次

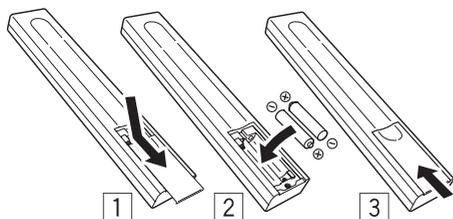
第 1 章
はじめに

特長

- **クイックレスポンス電源回路**
  本機は低損失でハイレスポンスな電源回路を使うことによって、プロ用オーディオ機器のエッセンスを取り込んだ、原音に忠実なサウンドを実現します。
- **左右対称ツインモノラル構造**
  本機は内部構造を左右対称に独立させた理想的な構造です。
- **ワイドレンジリニアサーキット**
  本機は、1 段増幅で必要なゲインを得るためのシンプルな電流帰還型回路です。電源リニアリティに優れ、出力インピーダンスが低域から広域までフラットであるため、確かなスピーカードライブを実現しています。
- **AB クラスパワーステージ**
  小音量でも歪みのない優れたサウンドを実現します。A 級動作範囲は約 1 W です。
- **世界最高峰のスタジオエンジニアとの共同音質チューニングの実施（協力：エアースタジオ）**

付属品の確認

リモコン× 1	単 4 形乾電池 (IEC R03) × 2
	電源コード× 1
	保証書 取扱説明書 (本書)

リモコンに電池を入れる

メモ

- リモコンの操作範囲が極端に狭くなってきたら、電池を交換してください。

警告

電池を直射日光の強いところや、炎天下の車内・ストーブの前などの高温の場所で使用・放置しないでください。電池の液漏れ、発熱、破裂、発火の原因になります。また、電池の性能や寿命が低下することがあります。

注意

電池を誤って使用すると、液漏れしたり破裂する危険性があります。以下の点について特にご注意ください。

- 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池のプラスとマイナスの向きを電池ケースの表示どおりに正しく入れてください。
- 乾電池には同じ形状でも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間（1 カ月以上）リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐため、乾電池を取り出してください。液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
- 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。

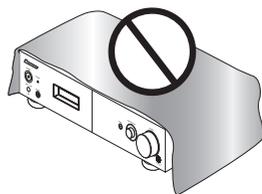
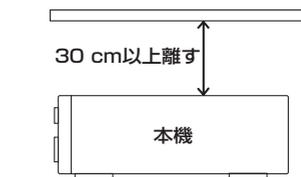
本機を設置する

本機を設置するときは、必ず平らで安定した面に設置してください。

- 次の場所には本機を設置しないでください。
  - テレビの上（映像が歪むことがあります）
  - カセットデッキまたは磁気を発する機器の近く (音声に悪影響を与えることがあります)
  - 直接日光の当たる場所
  - 湿気のある場所
  - 高温または低温の場所
  - 振動のある場所
  - ほこりやタバコの煙の多い場所
  - 台所など煙が出たり油を使用する場所

設置について

注意

- 放熱のため、本機の上に物を置いたり、布やシートなどを被せた状態でのご使用は絶対におやめください。異常発熱により故障の原因となる場合があります。

- 本機を設置する場合には、壁から 10 cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して設置してください。ラックなどに入れるときには、本機の天面から 30 cm以上、背面から 20 cm以上、側面から 20 cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

第 2 章

接続

接続図

重要

機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードは最後に接続してください。

⏚ 端子はアナログプレーヤーなどを接続した場合の雑音の低減を図るためのものです。

スピーカーシステム R（右側）

テープデッキ（またはCDレコーダー）

iPod用 コントロールドック など

レコードプレーヤーにアース端子が付いている場合は、必ず⏚端子に接続してください。

レコードプレーヤー

スピーカーシステム L（左側）

REC PLAY L R

R—AUDIO—L

CONTROL OUT

SIGNAL GND

SPEAKER R

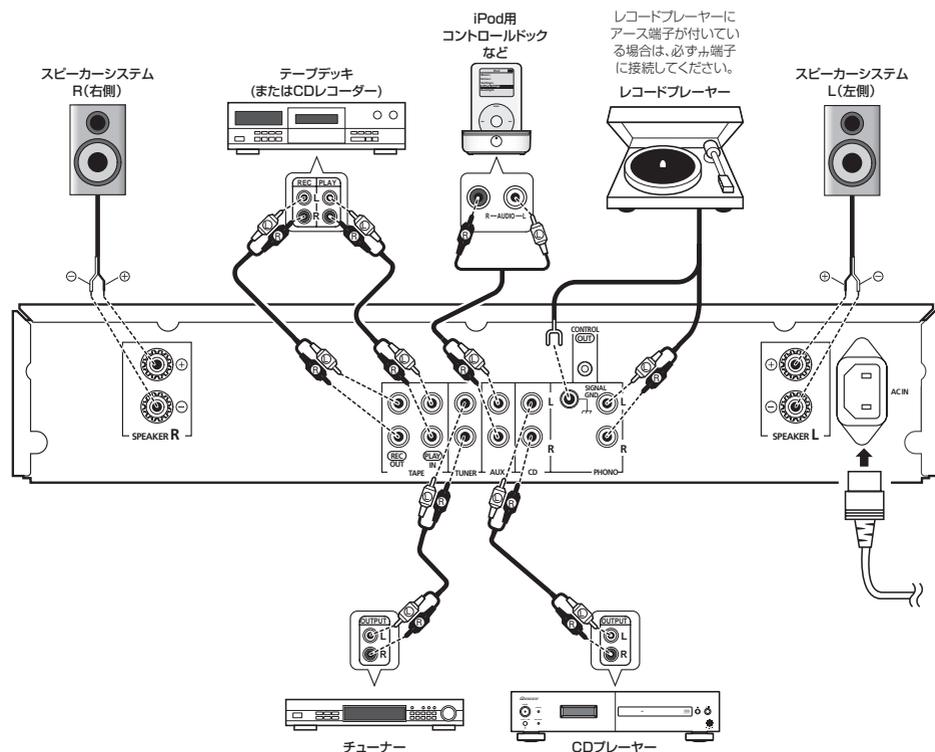
REC OUT PLAY IN TAPE TUNER AUX CD PHONO

SPEAKER L

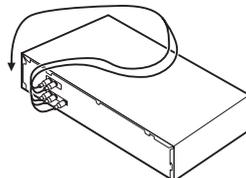
AC IN

OUTPUT L R

チューナー

CDプレーヤー

iPod は米国および他の国々で登録された Apple Computer, Inc. の商標です。

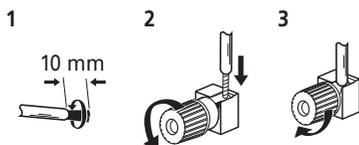
注意

・ PHONO 端子にレコードプレーヤー以外の機器またはイコライザー内蔵レコードプレーヤーを接続しないでください。大音量を出力し、スピーカーなどを破損する恐れがあります。
・ 右図のように、本機の上に接続コードを曲げて放置すると、電源トランスからの磁界の影響により、スピーカーからハムノイズが出る場合があります。接続コードはこのような状態にしないでください。

メモ

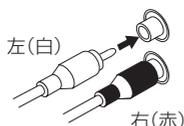
- カセットデッキを設置する場所によっては、再生したときに雑音などが発生する場合があります。これはアンプのトランスによるリーケージフラックス（漏れ磁束）の影響によるものです。このようなときには、設置する場所を変えるか、アンプから離して設置してください。

スピーカーコードのつなぎかた

1. **線をねじる**
2. **スピーカー端子を緩め、スピーカーコードを差し込む**
3. **スピーカー端子を締め付ける**

注意

- **公称インピーダンスが４Ω～16Ωのスピーカーをご使用ください。**
- スピーカーと本機の＋および－端子どうしを正しく接続してください。
- 端子からコードの芯線がはみ出して、他の芯線と触れないようにしてください。芯線どうしが触れていると、機器を故障させる恐れがあります。
- スピーカー端子には非常に高い電圧が出力されます。感電の危険を避けるため、スピーカーを接続する前に必ず電源コードを抜いてください。

オーディオコードのつなぎかた

白いプラグは L（左）端子、赤いプラグは R（右）端子につなぎます。
必ず、奥まで差し込んでください。

電源コードのつなぎかた

すべての接続が終了したら、電源コードを家庭用電源コンセント（AC 100 V）に接続します。

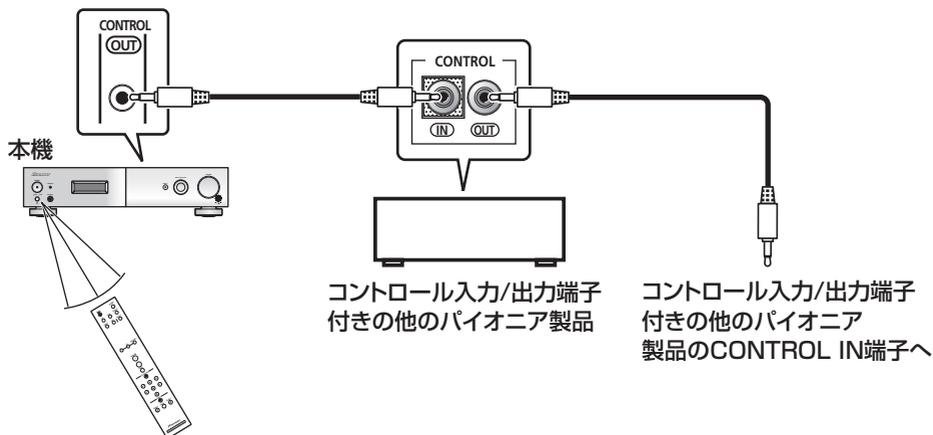
注意

- 本機の電源コードは着脱式になっていますが、付属しているコード（電流容量 15 A、本機側 2P プラグインソケット方式）以外の電源コードはご使用にならないでください。

メモ

- 旅行などで長期間本機を使用しない場合は、必ず主電源を切る、または電源コンセントから電源コードを抜いておいてください。ただし、1カ月程度主電源を切ったり、電源コードを抜いた状態にしておくと、本機で設定した各種設定がリセットされますのでご注意ください。
- 電源コードを抜くときは必ず主電源を切ってからコードを抜いてください。
- 本機がスタンバイ状態のときに **POWER ボタン**を押して電源をオフにした場合、再び **POWER ボタン**を押しても電源はオンになりません。リモコンの **AMP⏻ ボタン**、または本体の **DIRECTボタン**を約 5 秒間押して、電源をオンにしてください。
- 本機がスタンバイ状態のときに電源コードを抜いて電源をオフにした場合、再び電源コードを挿しても電源はオンになりません。リモコンの **AMP⏻ ボタン**、または本体の **DIRECT ボタン**を約 5 秒間押して、電源をオンにしてください。
- 停電などで家庭用電源が遮断されてしまった場合、電源復旧後の本機の状態は以下のようになります。
- 復旧時点で **POWER ボタン**が ON → 復旧前の状態で復帰します。
- 復旧時点で **POWER ボタン**が OFF → 通常の電源オフの状態になります。
- 復旧前がスタンバイ状態の場合は、復旧後もスタンバイ状態のままになります。

他のパイオニア製品をつないで集中コントロールする

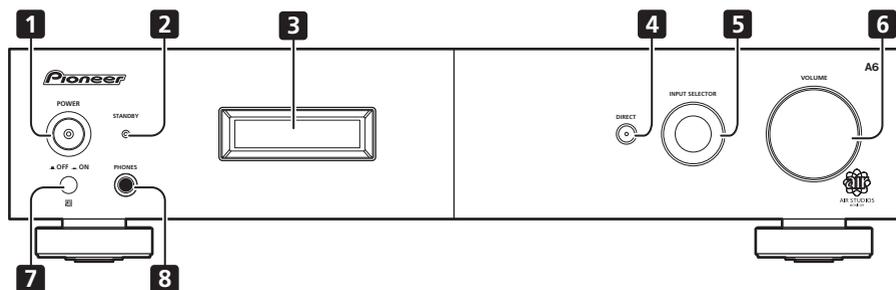
コントロール入力 / 出力端子の付いた複数のパイオニア機器を、本機のリモコン受光部を使って集中コントロールすることができます。リモコン受光部を持たない機器や、受光部が信号を受けられないところに設置した機器もリモコン操作が可能になります。

接続したパイオニア機器のリモコン

本機のリモコン受光部に向けて送信してください。

メモ

- 接続には市販のモノラルミニプラグコード（抵抗なし）をお使いください。
- コントロール端子の接続をする場合は、必ず市販のオーディオコードの接続もしてください。デジタル接続だけでは、システムコントロールは正しく動作しません。

第 3 章
各部のなまえ

本体前面

1 **POWER ボタン（■OFF/▂ON）**
主電源を入れます / 切ります。電源を入れるとインジケーターが点灯します。

2 **STANDBY インジケーター**
スタンバイ（待機状態）中に点灯します。

3 **表示窓 (P.13)**

4 **ダイレクトボタン / インジケーター**
ダイレクトモードのオン / オフを切り換えます。(P.17)

- **オン (インジケーター点灯):**
低高音部の音質調整回路やバランス調整回路などを通さずに、入力された信号をダイレクトに出力します。入力信号は通常より忠実に演奏されますが、低高音調整、バランスの調整は無効になります。
- **オフ (インジケーター消灯):**
低高音部の音質調整回路やバランス調整回路などを通した入力信号で演奏します。低高音調整、バランスの調整ができます。

5 **INPUT SELECTOR(入力切換つまみ)**
再生する機器を選択します。

6 **VOLUME(音量調整つまみ)**
音量を調整します。

7 **リモコン受光部**
「リモコンの操作範囲」参照 (P.12)。

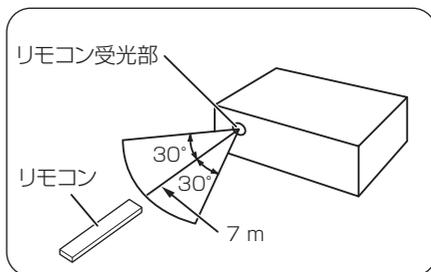
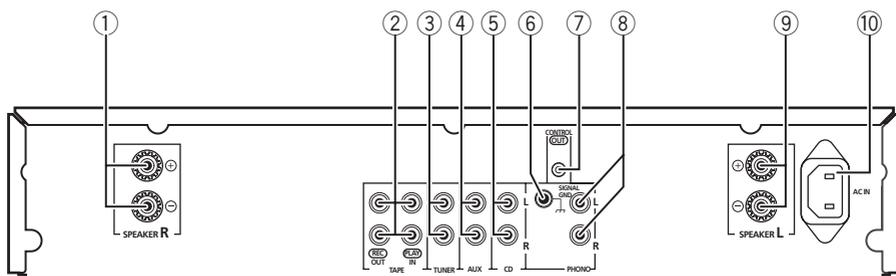
8 **PHONES 端子**
ヘッドホンを使用するときに、プラグを差し込みます。差し込むとスピーカーから音は出なくなります。

メモ

・ 本機がスタンバイ状態のときに POWER **ボタン**を押して電源をオフにした場合、再び POWER **ボタン**を押しても電源はオンになりません。リモコンの AMP⏻ **ボタン**または本体の DIRECT **ボタン**を 5 秒以上押して、電源をオンにしてください。

リモコンの操作範囲

本機をリモコンで操作するときは、リモコンをフロントパネルのリモコン信号受光部に向けてください。

- リモコン受光部との間に障害物があったり、受光部との角度が悪いとリモコン操作ができない場合があります。
- 赤外線を出す機器の近くで本機を使用したり、赤外線を利用した他のリモコン装置を使用したりすると、誤動作することがあります。
  逆に赤外線によってコントロールされる他の機器を使用時にこのリモコンを操作すると、その機器を誤動作させることがあります。
- リモコンの操作可能範囲が極端に狭くなってきたら電池を交換してください。
- 直射日光や蛍光灯の強い光がリモコン受光部に直接当たると、リモコン操作できないことがあります。そのようなときは、設置場所を変えたり、蛍光灯を離してください。

本体後面

1 スピーカー端子 (R（右）チャンネル) (P.8-9)

2 TAPE PLAY IN（入力）/REC OUT（出力）端子 (P.8, 16)

3 TUNER 入力端子 (P.8)

4 AUX 入力端子 (P.8)

5 CD 入力端子 (P.8)

6 PHONO 用 SIGNAL GND 端子 (P.8)
レコードプレーヤーなどを接続した場合の雑音の低減をはかるためのものです。安全アースではありません。

7 コントロール出力端子
リモコンの信号を出力するための端子です。コントロール入力端子の付いた製品を接続すると、それらの製品も本機のリモコンで動かすことができます。(P.10)

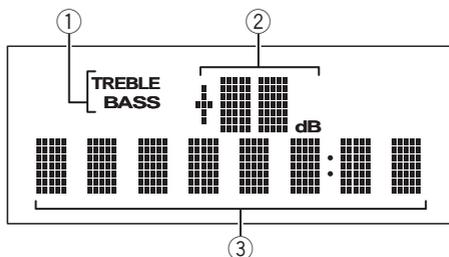
8 PHONO 入力端子 (P.8)

9 スピーカー端子 (L（左）チャンネル) (P.8-9)

10 AC IN 端子
電源コードを接続します。

⚠ 注意

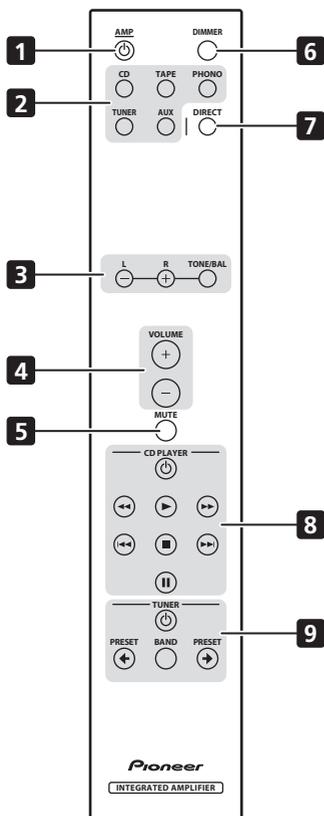
・ 製品の仕様により、本体部やリモコン（付属の場合）のスイッチを操作することで表示部がすべて消えた状態となり、電源プラグをコンセントから抜いた状態と変わらなく見える場合がありますが、電源の供給は停止していません。製品を電源から完全に遮断するためには、電源プラグ（遮断装置）をコンセントから抜く必要があります。製品はコンセントの近くで、電源プラグ（遮断装置）に容易に手が届くように設置し、旅行などで長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

表示窓

1　高音の調整をしているときに点灯します。（TREBLE）（P.17）
　　低音の調整をしているときに点灯します。（BASS）（P.17）

2　現在の主音量レベルを表示します。

3　いろいろな情報を表示します。

> **液晶表示素子 (LCD) について**
> 本機で使用している液晶表示素子は、温度により変化する性質を持っています。室温が低い場合はコントラストが薄くなるなど、一部見づらくなりますが、常温になれば元に戻りますので安心してご使用下さい。

リモコン

1 AMP ⏻ ボタン
本機の電源を入れます / スタンバイ（待機状態）にします。

2 **本機の入力を切り換えます。**
- CD ボタン
- TAPE ボタン
- PHONO ボタン
- TUNER ボタン
- AUX ボタン

3 TONE/BAL ボタン
L/ −ボタン
R/ +ボタン
低音と高音の調整および左右の音量のバランス調整をします。(P.17)

4 VOLUME + / −ボタン
本機の音量を調整します。

5 MUTE ボタン
消音します。

6 DIMMER ボタン
フロントパネル表示部の明るさを 3 段階で切り換えます。

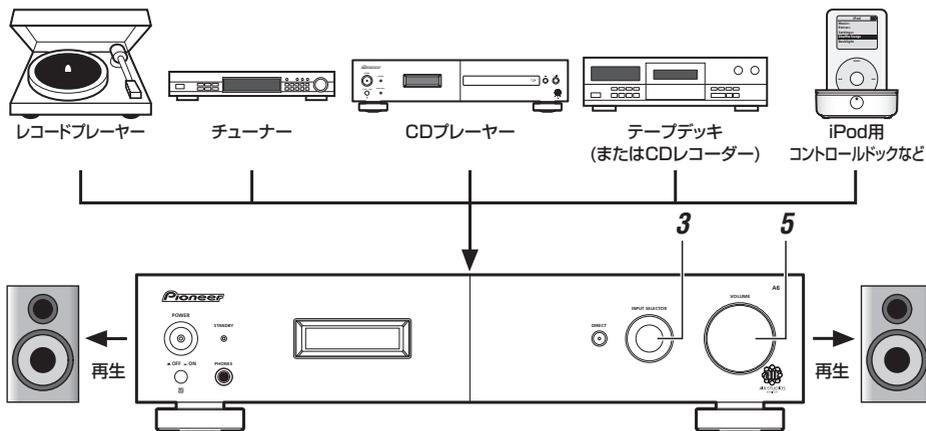
7 DIRECT ボタン
ダイレクトモードを設定します。(P.17)

8 CD プレーヤー再生操作ボタン
パイオニア製 CD プレーヤーを操作することができます。

9 チューナー操作ボタン
パイオニア製 TUNER を操作することができます。

第 4 章

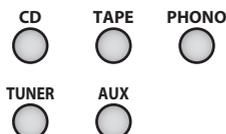
操作のしかた

再生手順

1 **再生する機器の電源を入れる**

2 **本機の電源を入れる**

本体前面の **POWER ボタン**を押します。スタンバイ状態の場合はリモコンの **AMP ⏻ ボタン**を押します。

本体前面の POWER インジケーターが青色に点灯していることを確認してください。

3 **再生する機器に合わせて、入力を切り換える**

再生する機器を選びます。
(本体の場合は INPUT SELECTOR で選びます)

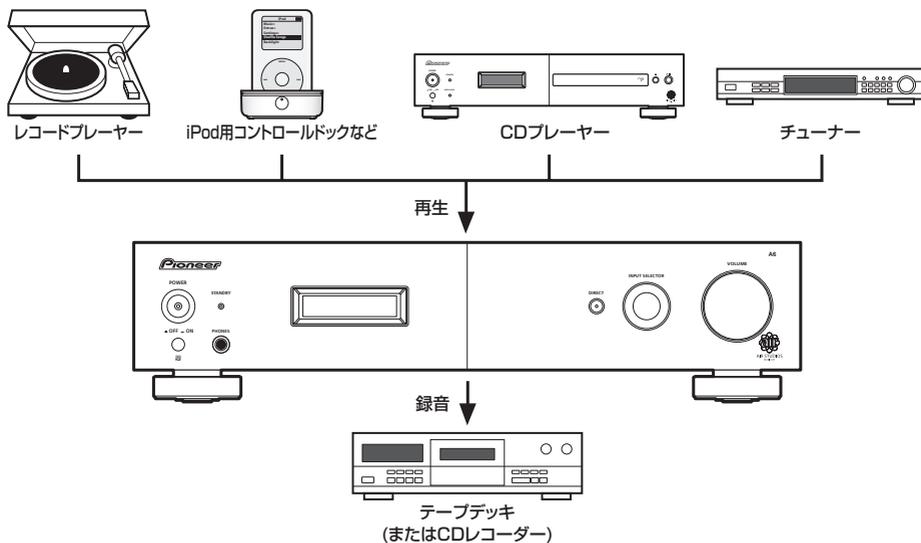
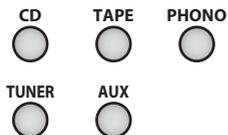
⚠ 注意

- [PHONO] を選んだときは、5 秒間のミューティングがかかります。

4 **再生する機器を操作して、再生を始める**

5 **音量を調整する**

録音する

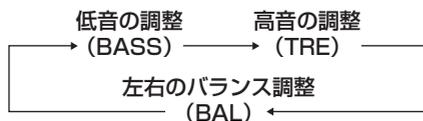
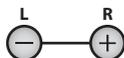
接続した機器を TAPE PLAY IN（入力）端子に接続した CD レコーダー、テープデッキなどで録音することができます。

1　再生する機器を選ぶ

2　再生機器とテープデッキ、CD レコーダー等を操作して録音を始める

お好みの音質に調整する

音質の設定や音量のバランスの調整をする

低音と高音の調整および左右の音量のバランス調整をすることができます。

1　**TONE/BALボタンを押して、いずれかのトーンを調整するか左右のバランス調整をするかを選択する**

押すたびに以下のように切り換わります。

2　**L/ −ボタンまたは R/ ＋ボタンを押して調整する**

約 5 秒後に自動的に調整モードが終了します。

● BASS
再生する曲の低音 (Bass) の音質を調整します。
お買い上げ時は、0 に設定されています。
− 10 〜＋ 10 の間で調整できます。

● TRE
再生する曲の高音 (Treble) の音質を調整します。
お買い上げ時は、0 に設定されています。
− 10 〜＋ 10 の間で調整できます。

● BAL
左右の音量のバランスを調整します。
お買い上げ時は、**フラット (FLAT)** に設定されています。
L/ −ボタンと **R/ ＋ボタン**を同時に押すと、フラット (FLAT) になり、表示部に FLAT が表示されます。

メモ

・ DIRECT モードをオンにしているときは、音質の設定はできません。

音を原音に忠実なまま再生する

ステレオ音声を原音に忠実なまま高品位で再生します。オンに設定していると表示部は消灯（バックライトオフ）します。お買い上げ時は、**オフ**に設定されています。

1　**DIRECT ボタンを押す**

押すたびに**オン**と**オフ**が切り換わります。
オンにすると、本体の DIRECT インジケーターが点灯します。

表示全体の明るさをかえる

部屋の明るさに応じて表示の明るさを、明るい設定、暗い設定とバックライトオフの 3 段階に切り換えることができます。ディマー機能といいます。お買い上げ時は、**明るい設定**になっています。

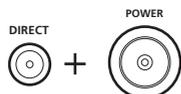
● **DIMMER ボタンを押す**

押すたびに明るさが 3 段階で切り換わります。

操作のしかた

本機のすべての設定を工場出荷時に戻す

設定オールリセットは以下の手順で実行します。操作は本体フロントパネルで行います。
設定オールリセットを行うと、上記のすべての設定が工場出荷時の状態になりますので**十分ご注意ください。**

1 **本機の電源がオフのときに本体前面の DIRECT ボタンを押しながら POWER ボタンを押す**

2 **フロントパネル表示部に「CLEAR?」と表示されたあと、DIRECT ボタンを押す**

表示部に「CLEARED」と表示され、すべての設定が工場出荷時の状態になります。

メモ

・ 電源コンセントからコンセントを長時間抜いた状態にしていても、本機で設定した各種設定が消去されることはありません。

第５章
その他

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらチェックしてみてください。ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。また、本機以外の原因も考えられます。ご使用の他の機器および同時に使用している電気機器もあわせてお調べください。以下の項目に従って再度点検されても直らないときは、お買い上げの販売店またはお近くのサービスステーションにお問い合わせください。

症状	原因 / 対策	参照ページ
電源が入らない。	• 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？電源プラグを正しく差し込んでください。	9
	• 電源プラグが、AC IN 端子から抜けていませんか？電源プラグを正しく差し込んでください。	9
音が出ない。	• 接続コードが端子から外れている。または、間違えて接続されていませんか？確実に接続してください。	8
	• 端子や接続コードのピンプラグが汚れていませんか？端子やプラグの汚れを拭き取ってください。	
	• 本機の入力切換は再生している機器と合っていますか？正しく切り換えてください。(CD、TAPE、PHONO、TUNER、AUX)	15
	• MUTE ボタンが ON になっていませんか？ OFF にしてください。	
片方のスピーカーから音が出ない。	• 接続コードやスピーカーコードの片方が外れていませんか？確実に接続してください。	8～9
リモコン操作ができない。（他機器をリモコンで操作できない）	• リモコンに電池は入っていますか？または電池が消耗していませんか？電池の入れ方を間違えていませんか？電池を正しく入れてください。または新しい電池に交換してください。	7
	• 本機と距離が離れすぎていませんか？または角度が悪くありませんか？リモコンは本機との距離が約 7 m 以内、前面パネルとの角度が左右にそれぞれ 30 ° 以内で操作してください。	12
	• 本機との間に障害物がありませんか？リモコンの操作場所を変えるか、障害物を取り除いて操作してください。	12
	• 他機器のシステムコントロールコードは接続されていますか？正しく接続してください。	10
	• 蛍光灯などの強い光がリモコン信号受光部に当たっていませんか？リモコン信号受光部に光が直接当たらないようにしてください。	

静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再び差し込むことで正常動作になる場合があります。これで解決しないときは、お買い上げの販売店または最寄りのサービスステーションにご相談ください。

保証とアフターサービス

修理に関するご質問、ご相談
裏表紙に記載の修理受付センター、またはお買い求めの販売店様にご相談ください。

保証書（別添）
保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証期間はご購入日から 1 年間です。

補修用性能部品の最低保有期間
当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、最低 8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき
P.19 に従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。ご転居されたり、ご贈答品などで、お買い求めの販売店に修理のご依頼ができない場合は、「ご相談窓口のご案内・修理窓口のご案内」（裏表紙）をご覧になり、修理受付センターにご相談ください。

連絡していただきたい内容
- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名　インテグレーテッドアンプ
- 型番　A-A6MK2
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容　（できるだけ詳しく）

保証期間中は
修理に際しては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社の保証規定に基づき修理いたします。

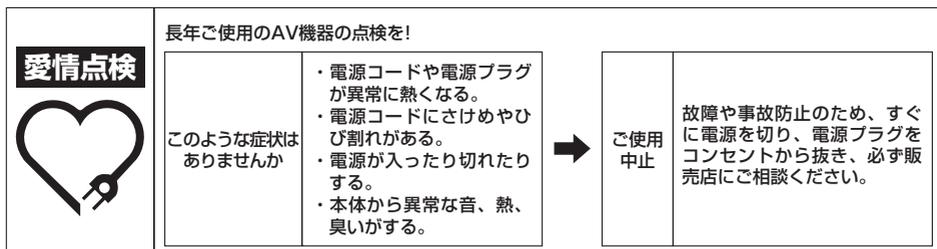
保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

本製品は家庭用オーディオ機器（オーディオ・ビデオ機器）です。下記の注意事項を守ってご使用ください。

1. 一般家庭用以外での使用（例：店舗などにおけるBGMを目的とした長時間使用、車両・船舶への搭載、屋外での使用など）はしないでください。
2. 音楽信号の再生を目的として設計されていますので、測定器の信号（連続波）などの増幅用には使用しないでください。
3. ハウリングで製品が故障する恐れがありますので、マイクロフォンを接続する場合はマイクロフォンをスピーカーに向けたり、音が歪むような大音量では使用しないでください。
4. スピーカーの許容入力を超えるような大音量で再生しないでください。

S26_Ja

長年ご使用のAV機器の点検を!

このような症状はありませんか	・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。 ・電源コードにさけめやひび割れがある。 ・電源が入ったり切れたりする。 ・本体から異常な音、熱、臭いがする。		ご使用中止	故障や事故防止のため、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

K026_A_Ja

仕様

アンプ部

定格出力（両チャンネル駆動）
...............60 W+60 W
（歪率 0.2 %、20 Hz ～ 20 kHz、4 Ω）
...............45 W+45 W
（歪率 0.2 %、20 Hz ～ 20 kHz、8 Ω）
入力端子（感度／入力インピーダンス）
CD、TAPE、TUNER、AUX
...............200 mV/22 kΩ
PHONO(MM)...............2.8 mV/47 kΩ
PHONO 最大許容入力
PHONO MM（高調波歪率 0.2 %、1 kHz）
...............60 mV
出力端子（レベル／出力インピーダンス）
TAPE...............200 mV/1 kΩ
周波数特性（ダイレクトスイッチ ON）
CD、TAPE、TUNER、AUX
...............5 Hz ～ 100 kHz、$^{+0}_{-3}$ dB
PHONO(MM).....20 Hz ～ 20 kHz、± 0.2 dB
トーンコントロール
BASS...............± 10 dB(100 Hz)
TREBLE...............± 10 dB(10 kHz)
SN 比（IHF A ネットワーク、ショートサーキット、ダイレクトスイッチ ON)
CD、TAPE、TUNER、AUX(200 mV)
...............103 dB
PHONO(MM、2.8 mV)...............80 dB

電源部・その他

電源...............AC 100 V 50 Hz/60 Hz
消費電力...............170 W
...............0.8 W（待機時）
外形寸法（幅）x（高さ）x（奥行）
...............420 mm x 100 mm x 359 mm
本体質量...............10.5 kg

付属品

リモコン...............1
単 4 形乾電池（IEC R03）...............2
電源コード...............1
保証書...............1
取扱説明書（本書）

上記の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

製品のお手入れについて

通常は、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は 5 ～ 6 倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞り、汚れを拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗料などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

音のエチケット

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所へのおもいやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には特に気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉めたりするのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

サービス拠点のご案内

サービス拠点への電話は、修理受付センターでお受けします（沖縄県の方は沖縄サービスステーション）。また、認定店は不在の場合もございますので、持ち込みをご希望のお客様は修理受付センターにご確認ください。

●北海道地区

受付　月〜金　9:30〜18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30〜12:00、13:00〜18:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	住所
☆北海道サービスセンター	FAX　011-611-5694	〒064-0822	札幌市中央区北2条西20-1-3　クワザワビル
旭川サービス認定店	FAX　0166-55-7207	〒070-0831	旭川市旭町1条1丁目438-89
帯広サービス認定店	FAX　0155-23-7757	〒080-0015	帯広市西5条南28丁目1-1
函館サービス認定店	FAX　0138-40-6473	〒041-0811	函館市富岡町2-18-7

●東北地区

受付　月〜金　9:30〜18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30〜12:00、13:00〜18:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	住所
☆東北サービスセンター	FAX　022-375-4996	〒981-3121	仙台市泉区上谷刈6-10-26
山形サービス認定店	FAX　023-615-1627	〒990-0023	山形市松波1-8-17
郡山サービス認定店	FAX　024-991-7466	〒963-8861	郡山市鶴見坦1-9-25　クレールアヴェニュー伊藤第2ビル1F D号
盛岡サービス認定店	FAX　019-656-7648	〒020-0051	盛岡市下太田下川原153-1
青森サービス認定店	FAX　017-735-2438	〒030-0821	青森市勝田2-16-10
八戸サービス認定店	FAX　0178-44-3351	〒031-0802	八戸市小中野3-16-8
秋田サービス認定店	FAX　018-869-7401	〒010-0802	秋田市外旭川字梶の目345-1

●東京都内

受付　月〜土　9:30〜18:00（日・祝・弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	住所
世田谷サービスステーション	FAX　03-3419-4234	〒155-0032	世田谷区代沢4-25-9
北東京サービスステーション	FAX　03-3944-7800	〒170-0002	豊島区巣鴨1-9-4　第三久保ビル1F
多摩サービスステーション	FAX　042-524-5947	〒190-0003	立川市栄町4-18-1　エクセル立川1F

●関東・甲信越地区

受付　月〜金　9:30〜18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30〜12:00、13:00〜18:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	住所
☆東関東サービスセンター	FAX　043-207-2555	〒263-0014	千葉市稲毛区作草部町1369-1　椎の実ハイツ1F
松戸サービス認定店	FAX　047-340-5052	〒270-0021	松戸市小金原4-9-23
水戸サービス認定店	FAX　029-248-1306	〒310-0844	水戸市住吉町307-4
つくばサービス認定店	FAX　0298-58-1369	〒305-0045	つくば市梅園2-2-6
☆北関東サービスセンター	FAX　048-651-8030	〒331-0812	さいたま市北区宮原町1-310-1
川越サービス認定店	FAX　049-233-6581	〒350-0804	川越市下広谷1128-11
宇都宮サービス認定店	FAX　028-657-5882	〒321-0912	宇都宮市石井町3373-21
群馬サービス認定店	FAX　0270-22-1859	〒372-0801	伊勢崎市宮子町1191-17　パサージュ808伊勢崎101号
新潟サービス認定店	FAX　025-374-5756	〒950-0982	新潟市中央区堀之内南1-20-11
佐渡サービス指定店　横山電機商会	FAX　0259-63-3400	〒952-1209	佐渡市金井町千種1158-1
☆南関東サービスセンター	FAX　045-943-3788	〒224-0037	横浜市都筑区茅ヶ崎南2-18-1　ベルデユール茅ヶ崎
横浜サービス認定店	FAX　045-348-8661	〒240-0043	横浜市保土ヶ谷区坂本町250
神奈川西サービス認定店	FAX　046-231-1209	〒243-0422	海老名市中新田4-10-53　中山ビル1F
三宅島サービス指定店　勝見電機	FAX　04994-6-1246	〒100-1211	三宅村大字坪田
松本サービス認定店	FAX　0263-48-0575	〒390-0852	松本市大字島立180-5　パイオニア松本拠点1F
長野サービス認定店	FAX　026-229-5250	〒380-0935	長野市中御所1-24
甲府サービス認定店	FAX　055-228-8003	〒400-0035	甲府市飯田4-9-14

●中部地区

受付　月〜金　9:30〜18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30〜12:00、13:00〜18:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	住所
☆中部サービスセンター	FAX　052-532-1148	〒451-0063	名古屋市西区押切2-8-18
岡崎サービス認定店	FAX　0564-33-7080	〒444-0931	岡崎市大和町字荒田36-1　大和ビレッジB-1
津サービス認定店	FAX　059-213-6712	〒514-0821	津市垂水522-5
岐阜サービス認定店	FAX　058-274-5256	〒500-8356	岐阜市六条江東1-1-3
静岡サービス認定店	FAX　054-236-4063	〒422-8034	静岡市駿河区高松1-17-17
沼津サービス認定店	FAX　055-967-8455	〒410-0876	沼津市北今沢12-7
浜松サービス認定店	FAX　053-422-1401	〒430-0912	浜松市中区茄子町355-1
金沢サービス認定店	FAX　076-240-0550	〒920-0362	金沢市古府3-60-1　K2ビル1F
富山サービス認定店	FAX　076-425-3027	〒939-8211	富山市二口町1-7-1
福井サービス認定店	FAX　0776-27-1768	〒910-0001	福井市大願寺3-5-9

●関西地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	住所
☆関西サービスセンター	FAX 06-6310-9120	〒564-0052	吹田市広芝町5-8
大阪南サービス認定店	FAX 0722-75-2625	〒593-8322	堺市西区津久野町1-8-15　ローズマンション1F
神戸サービス認定店	FAX 078-265-0832	〒651-0093	神戸市中央区二宮町1丁目10-1　ローレル三宮ノースアベニュー1F
姫路サービス認定店	FAX 0792-51-2656	〒671-0224	姫路市別所町佐土1-126
和歌山サービス認定店	FAX 0734-46-3026	〒641-0021	和歌山市和歌浦東3-1-25
京都サービス認定店	FAX 075-352-2588	〒600-8322	京都市下京区西洞院通五条東南角小柳町513-2　五条久保田ビル1F
奈良サービス認定店	FAX 0742-36-8713	〒630-8132	奈良市大森西町21-26
福知山サービス認定店	FAX 0773-24-5375	〒620-0055	福知山市篠尾新町2-74　カマハチマンション

●中国・四国地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	住所
☆中四国サービスセンター	FAX 082-248-9939	〒730-0041	広島市中区小町2-30　第二有楽ビル1F
岡山サービス認定店	FAX 086-244-8748	〒700-0975	岡山市北区今8-15-21
松江サービス認定店	FAX 0852-22-7779	〒690-0017	松江市西津田4-5-40　（有）テクピット内
福山サービス認定店	FAX 0849-31-2791	〒720-0815	福山市野上町3-12-9
鳥取サービス認定店	FAX 0857-28-8011	〒680-0934	鳥取市徳尾422-2
徳山サービス認定店	FAX 0834-33-5759	〒745-0006	周南市花畠町3-11　森広事務所1F
高松サービスステーション	FAX 087-861-4841	〒760-0078	高松市今里町1-16-1
徳島サービス認定店	FAX 088-669-6076	〒770-8023	徳島市勝占町中須92-1　大松ジョリカ地下1階103号
高知サービス認定店	FAX 088-802-3321	〒780-0051	高知市愛宕町3-12-13　晃栄ビル1Ｆ
松山サービス認定店	FAX 089-911-5608	〒791-8013	松山市山越5-12-8

●九州地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	住所
☆九州サービスセンター	FAX 092-412-7460	〒812-0016	福岡市博多区博多駅南2-12-3
北九州サービス認定店	FAX 093-941-8354	〒802-0044	北九州市小倉北区熊本1丁目9-4　植田ビル1F
博多サービス認定店	FAX 092-461-1643	〒812-0006	福岡市博多区上牟田2-6-7
西九州サービス認定店	FAX 0952-20-1991	〒840-0201	佐賀市大和町大字尼寺2688-1
長崎サービス認定店	FAX 095-849-4606	〒852-8145	長崎市昭和1丁目12-10　クリスタルハイツ平野
熊本サービス認定店	FAX 096-331-3323	〒862-0918	熊本市花立5丁目14-17
大分サービス認定店	FAX 097-551-2049	〒870-0921	大分市萩原3-23-15　日商ビル101
宮崎サービス認定店	FAX 0985-27-3136	〒880-0821	宮崎市浮城町98-1
鹿児島サービス認定店	FAX 099-201-3803	〒890-0046	鹿児島市西田3-8-24　サニーサイド21 1Ｆ

●沖縄県

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）

拠点	TEL / FAX	〒	住所
沖縄サービスステーション	TEL 098-879-1910 FAX 098-879-1352	〒901-2113	浦添市大平2-2-6　ひろえハイツ102

平成21年4月現在　　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

<各窓口へのお問い合わせの時のご注意>
「0120」で始まる フリーコールおよび フリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからは、ご使用になれません。
また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口

● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーコール）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜・日曜・祝日9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

■家庭用オーディオ/ビジュアル商品　フリーコール 0120−944−222　一般電話　03−5496−2986

■ファックス　03−3490−5718

■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/
※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

修理窓口のご案内

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理についてのご相談窓口

● お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合

修理受付センター

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜・日曜・祝日9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

■電話　フリーコール 0120−5−81028（ゴーパイオニア）　一般電話　03−5496−2023

■ファックス　フリーコール 0120−5−81029

■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/repair.html
※インターネットによる修理受付対象商品は、家庭用オーディオ/ビジュアル商品に限ります

沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■一般電話　098−879−1910

■ファックス　098−879−1352

部品のご購入についてのご相談窓口

● 部品（付属品、リモコン、取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～18:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■電話　フリーダイヤル 0120−5−81095　一般電話　0538−43−1161

■ファックス　フリーダイヤル 0120−5−81096

平成21年4月現在　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。　VOL.031

JIS C 61000-3-2適合品　D50-5-10-1_A_Ja

JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性−第3-2部:限度値−高調波電流発生限度値(1相当たりの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<5707-00000-233-0S>